

オーラルコミュニケーションに関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



VALUE ルーブリックは、全米の大学を代表する専門教職員が、学習の成果に関する各大学のルーブリックや関連文書を調査し、教職員からのフィードバックを参考にして作成されたものである。このルーブリックは、段階的達成レベルを示す能力指標により、各学習成果の原則的な基準を示すものである。このルーブリックは、各大学が学生の学習を評価し考察する目的で使用されるものであり、成績をつけるために使用するものではない。この 15 の VALUE ルーブリックに示された学生に期待される能力に関しては、各大学、専門分野、コースに応じて、それぞれの解釈が可能である。VALUE ルーブリックは、学生の成果に関し共通の手段と理解を共有することで、すべての学部レベルの機関での学生の学習を、一つの基本的な期待レベルの枠組みの中で位置づけるためのものである。

学生の課題では、ほとんどの場合、オーラルコミュニケーションとは口頭によるプレゼンテーションであり、このルーブリックもそれを念頭において作成されている。

定義

オーラルコミュニケーションとは、知識を増やしたり、理解を深めたり、聞き手の程度、価値、信念、行動に変化を促したりするために、準備をして目的をもって行われるプレゼンテーションである。

概要

オーラルコミュニケーションには様々な形式がある。このルーブリックは、一度に一名のスピーカーの口頭によるプレゼンテーションを評価するためのものであり、発表の場で、またはビデオ録画によるプレゼンテーションに適用するのが望ましい。パネルプレゼンテーションやグループプレゼンテーションの場合は、各スピーカーを個別に評価することを推奨する。このルーブリックは、中心的メッセージを伝え、一つまたはいくつかの材料によって裏付けられ、目的に応じた構成をとるために十分な長さのプレゼンテーションに適用するのが最も望ましい。このルーブリックは、プレゼンテーションに含まれていない質問に対する口頭の答えは適用するのは難しい。

用語

下記は、このルーブリックにのみ適用される用語と概念の定義である。

中心的メッセージ	プレゼンテーションの主なポイント、テーマ、結論、覚えておくべき重要点を指す。明確な中心的メッセージとは、容易に確認できるものを指し、説得力のある中心的メッセージとは、はっきりしていて記憶に残るメッセージである。
話し方	姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、声の使い方など。話し手が、立って自信を持った動きをし、原稿やメモよりも聴衆のほうを見るようにし、効果的に声を使い、無意味な間投詞（「あ〜」「え〜と」「その〜」「まあ〜」など）をなるべく使わないように話すことで、プレゼンテーションの効果が上がる。
言語	語彙、用語、構文など。プレゼンテーションの効果が上がる言語とは、話題や聴衆にふさわしく、文法的、明確で偏見のないものである。また、はっきりとして、想像力や表現力に富んだ言語により、プレゼンテーションの効果が上がる。
構成	プレゼンテーションにおける考え方やそれを裏付ける材料のまとまりや連続を指す。通常、プレゼンテーションの効果が上がる構成には、導入部、一つまたはいくつかの区切りのある本文、結論が含まれる。プレゼンテーションの効果を上げるには、内容を分かりやすくし、プレゼンテーションの目的を達成するため、時系列型、問題解決型、分析型など、可能な選択肢の中から目的に応じて選択することが必要である。

オーラルコミュニケーションに関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



立証材料

関連する情報源から得た説明、例、図、統計、比喩、引用や、プレゼンテーションの主な考え方を裏付けるその他の情報や分析。通常、関連があり信頼できる適切な情報源から得た立証材料は信頼できる。明瞭で、上記の様々な立証材料（例、統計、参考資料を組み合わせるなど）を使用した立証材料は非常に信頼性がある。また、立証材料により、話し手に対する信頼を築くことができる。例えば、シェークスピアの劇などの創造的な作品のプレゼンテーションを行う場合、立証材料によってシェークスピアについての考えを深めるというよりは、話し手を信頼できるシェークスピア劇の俳優と印象付けることができる。

オーラルコミュニケーションに関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



定義

オーラルコミュニケーションとは、知識を増やしたり、理解を深めたり、聞き手の程度、価値、信念、行動に変化を促したりするために、準備をして目的をもって行われるプレゼンテーションである。

単独の課題、または複数の課題を総合して、ベンチマーク（基準 1）に達しない場合は、0点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
構成	構成のパターン（導入部や結論、本文の構成、流れ）が明瞭で常に分かりやすく巧みで、内容に一貫性がある。	構成のパターン（導入部や結論、本文の構成、流れ）が明瞭で常に分かりやすい。	構成のパターン（導入部や結論、本文の構成、流れ）が、部分的に判別できる。	構成のパターン（導入部や結論、本文の構成、流れ）が、分からない。
言語	言語の選択が、創造的で記憶に残り説得力があり、プレゼンテーションの効果を上げている。聴衆にふさわしい言語が使われている。	言語の選択が考慮され、プレゼンテーションの効果を上げている。聴衆にふさわしい言語が使われている。	言語の選択が考慮され、プレゼンテーションの効果を上げている。聴衆にふさわしい言語が使われている。	言語の選択が不明瞭で、プレゼンテーションの効果を上げていない。聴衆にふさわしい言語が使われていない。
話し方	話し方（姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、声の表現）に説得力があり、話し手が洗練され自身に満ちて見える。	話し方（姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、声の表現）によりプレゼンテーションが興味深いものになり、話し手が落ち着いて見える。	話し方（姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、声の表現）によりプレゼンテーションが理解できるが、話し手がためらっているように見える。	話し方（姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、声の表現）によりプレゼンテーションが理解できず、話し手が不安そうに見える。
立証材料	様々な種類の立証材料（関連する情報源から得た説明、例、図、統計、比喩、引用）により情報や分析に適切に言及し、プレゼンテーションを裏付け、そのテーマに関する話し手の信頼性を向上させている。	立証材料（関連する情報源から得た説明、例、図、統計、比喩、引用）により情報や分析に適切に言及し、プレゼンテーションを裏付けている、または、そのテーマに関する話し手の信頼性を向上させている。	立証材料（関連する情報源から得た説明、例、図、統計、比喩、引用）により情報や分析に適切に言及し、プレゼンテーションを部分的に裏付けている、または、そのテーマに関する話し手の信頼性を向上させている。	立証材料（関連する情報源から得た説明、例、図、統計、比喩、引用）による情報や分析への言及が不十分で、プレゼンテーションの裏付けや、そのテーマに関する話し手の信頼性の向上に役立っていない。
中心的メッセージ	中心的メッセージに説得力がある。（正確な説明、適切な反復、記憶に残る、裏付けがしっかりしている）	中心的メッセージが明瞭で一貫性があり、裏付けがされている。	中心的メッセージはおおむね理解できるが、反復されておらず、記憶に残らない。	中心的メッセージを推論することはできるが、プレゼンテーションの中で明示されていない。